

一般社団法人 日本家政学会 家族関係学部会ニューズレター
Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics



2022 年度 第 1 号 2022. 6. 30 発行



編集 永田 晴子

発行 家族関係学部会事務局

***** INDEX *****

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ■ 部会長より | ■ 会計より |
| ■ 第 42 回家族関係学セミナーのご案内 | ■ 庶務（会員管理担当）より |
| ■ 部会役員改選選挙について | ■ 2021 年度事業報告 |
| ■ 編集委員会より | ■ 2021 年度収支計算書 |

★★★ 部会長より ★★★

山根 真理（愛知教育大学）

梅雨から夏に向かう体調の調整が難しい時期ですが、会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。早いもので、一昨年 10 月に新役員会の活動を開始してから 2 年目の後半に入りました。今期はずっと、新型コロナウイルス禍中での部会活動となりました。部会の重要な学術活動である「家族関係学セミナー」は 2020 年度（和洋女子大学）、2021 年度（椋山女学園大学）と 2 年連続でオンライン開催でした。難局の中、セミナー開催に一方ならぬご尽力をくださった多くの皆さまに、改めましてお礼を申し上げます。

今年の第 42 回家族関係学セミナーは 10 月 29 日、30 日の二日にわたり、大妻女子大学を開催校として、久しぶりに会場での開催となります。セミナー実行委員会では、対面とオンラインの両方に対応するハイブリット形式という、これも初めての形式でのセミナー開催の準備をすすめています。「ポストコロナ社会と家族」をテーマにしたシンポジウムでは、2015 年以来、7 年ぶりに韓国家族関係学会（KAFR）からゲストをお招きしての学術交流を行います。対面で、あるいはオンラインで多くの皆さまにご参加いただき、家族関係学の立場から、ポストコロナ社会のあり方について発信し、広く議論しあう場になることを願っています。

編集委員会では第 41 号『家族関係学』誌の刊行に向けて、編集作業を進めています。昨年度の公開シンポジウム「家庭科は多様な家族をどう教えるか」が特集テーマになります。「現代の多様な家族の中で生きる子ども達にどう向き合うか」ということは、今日、子どもの育ちにかかわる人すべてにかかわる問いであり、家族関係学の成果を実践的に活かしていただく機会になることと思います。

10 月のセミナーで、多くの会員の皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

第42回家族関係学セミナーのご案内

永田 晴子 (第42回家族関係学セミナー実行委員長/大妻女子大学)

■日程およびプログラム概要

10月29日(土) 対面およびオンライン(ZOOM会議システム)にて開催

13:00~16:00 シンポジウム

テーマ:「ポストコロナ時代の家族」

登壇予定者: チェ・ヒジョン氏 (成均館大学校)

ミン・ジュホン氏 (済州大学校) ほか

※シンポジウムの詳細は、プログラムにてお知らせします。

16:30~17:30 総会

10月30日(土) 対面およびオンライン(ZOOM会議システム)にて開催

午前中 自由報告 【1報告につき、報告時間20分、質疑応答5分】

※時間は演題数により確定し、プログラムにてお知らせします。

■「自由報告」の募集

自由報告申し込み期限: 2022年7月31日(日) 必着

報告要旨の締め切り: 2022年8月31日(水) 必着

※詳細は、6月中旬に送付された「第42回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご確認ください。

■プログラムのご案内と参加申込み

「プログラムのご案内と参加申込み」は9月上旬に発送する予定です。参加費、自由報告の申し込み等、詳細につきましては、6月中旬に送付しました「第42回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご覧ください。

■連絡先: 第42回家族関係学セミナー実行委員会事務局

〒102-8357 東京都千代田区三番町12 大妻女子大学 家政学部 永田 晴子

Tel: 03-5275-6000 (代表)

E-mail: hnagata@otsuma.ac.jp

★ ☆ ★ 部会役員改選選挙について ☆ ★ ☆

山下 美紀 (庶務/ノートルダム清心女子大学)

部会役員改選選挙についてお知らせいたします。「一般社団法人日本家政学会家族関係学部会則」ならびに「一般社団法人日本家政学会家族関係学部会役員選出規定」に基づき、2022～2023 年度 (2022 年 10 月～2024 年 10 月) の役員 (選出委員) の選挙を行います。投票用紙等は 2022 年 6 月 16 日付で発送しましたので必ずご確認ください。(選挙権のある方に送付しております)

投票の締め切り日は、2022 年 7 月 6 日 (水) (消印有効) です。

記入を終えた投票用紙は、無記名で投票用紙封入用の薄い茶封筒に入れて密封し、これらをさらに投票用紙返信用封筒に入れ、住所、氏名を明記のうえ 84 円切手を貼って、下記の選挙管理委員会委員長宛にご返送ください。なお、選挙管理委員会は、李璟媛、森田美佐、山下美紀により構成されています。

選挙管理委員会委員長：岡山大学大学院教育学研究科 李璟媛

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

連絡先：ノートルダム清心女子大学 山下 美紀

E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局・選挙管理委員会)

★を@に置き換えてください

★ ☆ ★ 編集委員会より ☆ ★ ☆

表 真美 (編集委員長/京都女子大学)

編集委員会は、9 人体制で、『家族関係学』No. 41 の 12 月刊行に向けて編集作業を進めています。

41 号には、複数の論文投稿がありましたが、まだ十分な投稿数には達しませんでした。部会誌の質をいっそう高めていくには、より多くの投稿が必要です。**42 号の投稿締め切りも例年通り、2023 年 3 月末日の予定**ですので、最新の投稿規定・執筆要項をご確認いただき、ぜひ今からご準備いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

また、書評・文献紹介では、本年 5 月 1 日から来年 4 月 30 日までの間に刊行された、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象として検討します。皆さまには編集委員会宛てに積極的に献本いただくなど、多くの情報をお知らせくださいますようお願いいたします。

刊行後の編集作業として、部会誌の発送業務、さらに J-STAGE への電子ジャーナル掲載があります。刊行後、当該年度内にすみやかに公開しており、既に 40 号を掲載しました (現在 30 号から 40 号までを掲載)。また、29 号以前の既刊号も順次計画的に登載する予定です。電子ジャーナルは、下記サイトからご覧いただけますので、ご確認ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja

編集委員会宛てにご要望等がございましたら、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せください。

★ ☆ ★ 会計より ☆ ★ ☆

大風 薫 (会計/京都ノートルダム女子大学)

2022年度部会費として5,000円(学生会員2,000円)を請求させていただきます。請求書は6月中旬に送付しています。払込取扱票にて納入くださいますようお願いいたします。前年度までの未納分のある方には、納入いただく金額を「年会費納入のお願い」に記載しております。

2022年度に学生会員として入金を希望される方は、学生証の写しを郵送、画像・PDFファイル添付のいずれかの方法で、家族関係学部会事務局まで提出をお願いいたします。提出期限は2022年7月20日(水)までとさせていただきます。なお、学生会員の場合は2年分の会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会
連絡先：京都ノートルダム女子大学 大風 薫 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1
Tel：075-706-3672 E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)
★を@に置き換えてください

★ ☆ ★ 庶務(会員管理担当)より ☆ ★ ☆

山下 美紀 (庶務/ノートルダム清心女子大学)

○ご住所・ご所属・会員区分の変更、入・退会のご希望、メーリングリスト(ML)へのメールアドレスの登録・変更がございましたら、家族関係学部会事務局までご連絡ください。

○バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号(9冊)、31号(8冊)、32号(9冊)、33号(6冊)、34号(10冊)、35号(10冊)、36号(5冊)、37号(31冊)、38号(21冊) 39号(53冊) 40号(46冊)です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：ノートルダム清心女子大学 山下美紀
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 Tel:086-252-2142 Fax:086-252-5145
E-mail: inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)
※上記の★を@に置き換えてください。

✿+++++++✿

家族関係学部会

★を@に置き換えてください

メールマガジン配信アドレス：info★kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会事務局アドレス：inquiry★kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会ホームページ URL：http://www.kazokukankeigaku.jp/

✿+++++++✿

2021 年度事業報告

1. 研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

2021 年 10 月 9 日、10 日に椋山女学園大学で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症への対応として、椋山女学園大学を開催校として 10 月 9 日（土）にオンライン（Zoom）で開催した。12 報告。

(2) 公開講演会・シンポジウム等

「家族関係学セミナー公開シンポジウム」の開催

2021 年 10 月 9 日（土）に、オンライン（Zoom）で開催した。

（開催校：椋山女学園大学）

テーマ「家庭科は多様な家族をどう教えるか」

シンポジストと報告タイトル

第 1 報告：村田晋太郎氏（三重大学 准教授）

「家族を教える授業で育てる資質・能力とは？ —コミュニケーションスキルに着目して—」

第 2 報告：綿引伴子氏（金沢大学 教授）

「家庭科で家族を学ぶ意味を考える」

第 3 報告：久保翔太氏（愛知県南知多町立師崎中学校 教諭）

「中学生を取り巻く家族のあり方と家庭科教育」

第 4 報告：山田真希氏（愛知県立松蔭高等学校 教諭）

「自分の中の家族を問う—高校家庭科での取り組み—」

参加者 100 名

（一般会員 74 名、名誉会員 2 名、学生会員 8 名、招聘した外部講師 3 名、一般参加 13 名）

2. 部会誌の刊行

『家族関係学』No.40 2022 年 12 月 24 日発刊 240 部

3. 研究及び調査の実施

本年度実施せず。

4. 内外の関連学協会との連携及び協力

本年度実施せず。

5. 出版

本年度実施せず。

6. 『家族関係学』の J-STAGE 掲載

『家族関係学』No.40 2022 年 1 月 28 日に掲載

7. その他、目的を達成するために必要な事業

ニュースレターの発行2回 2021年6月28日、2021年2月22日

メールマガジンの発行3回（第18～20号） 2020年5月8日、8月30日、11月15日

ホームページの更新12回

2021年4月6日、6月28日、7月1日、7月15日、7月20日、8月26日、

9月2日、9月8日、11月1日

2022年11月1日、1月27日、3月10日

8. 会員の状況（2022年3月31日現在）

会員総数169名（正会員150名、名誉会員6名、学生会員13名）

以上

2021年度収支計算書

<③家族関係学部会>2021年度決算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	注 意	予算	決算	差異
一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	(本部のみ)			
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息			0
入会金				0
年会費		870,000	783,500	86,500
会誌購読料		32,340	34,730	▲2,390
大会等参加費		372,500	9,000	363,500
広告料				0
刊行物売上		2,000		2,000
著者負担金		0		0
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)			
一般寄付金	活動全般に使用してよい寄付金			
特別寄付金	使途を限定した寄付金			
雑収入	普通預金利息	100	2	98
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)			
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)			
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)	80,000	78,980	1,020
経常収益計		1,356,940	906,212	450,728
(2) 経常費用				
①事業費		1,358,000	573,875	784,125
大会会場使用料		40,000		40,000
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)			
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	236,000		236,000
大会印刷費				
大会研究発表要旨集作成費		78,000		78,000
大会通信運搬費		10,000		10,000
大会臨時雇賃金				
総会費				
セミナー・講演会等会場使用料			5,000	
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	100,000	89,096	10,904
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	5,000	1,260	3,740
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む		5,400	
セミナー・講演会等印刷費				
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費				
セミナー・講演会等通信運搬費			2,790	
セミナー・講演会等臨時雇賃金		48,000	6,000	42,000
学会誌等関連印刷費		320,000	298,408	21,592
学会誌等関連通信費		80,000	31,995	48,005
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000		10,000
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		120,000	58,135	61,865
研究補助費				
表彰費	奨励賞等	0		0
関連学会等会費				
会議費	会議用のお菓子、お茶等	25,000		25,000
広報費	ホームページ等	60,000	44,299	15,701
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000		10,000
事務委託費		120,000	27,310	92,690
支払負担金	振込手数料	6,000	4,182	1,818
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費	90,000		90,000
②管理費		100,000	54,654	45,346
給料手当		10,000	15,625	▲5,625
福利厚生費				
旅費交通費	(本部のみ)			
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	30,000	23,416	6,584
備品費				
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	30,000	8,910	21,090
光熱水料費				
雑費	(本部のみ)			
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)			
地代	(本部のみ)			
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	30,000	6,703	23,297
修繕費				
減価償却費	(本部のみ)			
リース料				
事務所管理費				
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)			
③支部費				
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)			
活動助成費				
経常費用計		1,458,000	628,529	829,471
当期経常増減額		▲101,060	277,683	▲378,743
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出なのでほぼ該当なし)			
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額		▲101,060	277,683	▲378,743
一般正味財産期首残高	(2020年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,098,114	3,098,114	0
一般正味財産期末残高	(2021年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	2,997,054	3,375,797	▲378,743